

甲山森林公園の指定管理者の管理運営に関する評価

本公園は、「明治 100 年記念」、「兵庫県政 100 年」の記念公園として、六甲山の東端の甲山一帯の緑豊かな地に昭和 45 年に開設した広域公園で、ハイキングやレクリエーション、バードウォッチング等多くの人に利用されている。また、県では本公園を「子育て支援型公園」として位置づけている。

本公園について、県立都市公園指定管理者候補者選定委員会は、県から指定管理者の業務実施状況をヒアリングし、以下のとおり指定管理者の管理運営に関する評価を行った。

1 評価項目毎の評価

1-1 施設維持管理業務

本公園は、都市域の自然環境保全を第一に全体の 85%を自然樹林として保全した先駆的な公園である。そのため、園内に樹木が多く、現指定管理者は落枝などによる利用者事故を未然に防ぐため、作業計画以上の高木剪定や枯損木処理、低木剪定を行っている。

また、施設の毎日の巡回を適切に行い、修繕箇所を早期発見することで最小限の修繕になるよう努めている。

1-2 運営業務

子育て世代の参加者の増加に繋がるようにイベントを毎年度再考しており、「野鳥観察会」等の大人向けイベントを親子向けへの変更や、「はるまつり」等集客イベントに子ども向け内容を追加する等、子育て世代を重視したプログラムを実施しており、「子育て支援型公園」としての役割を果たしている。

一方で、公募時に提案のあった利用促進事業は年度によって実施できていないものもある。

1-3 利用状況

平成 29 年度は指定管理者が公募時に提案した目標年間来園者数年間 96.9 万人に対して 85.9 万人、平成 30 年度は目標 96.9 万人に対して 97.2 万人、令和元年度は目標 98.2 万人に対して 118.5 万人、令和 2 年度は目標 110.3 万人に対して 146.7 万人となった。

平成 29 年度は目標達成が出来なかったが、その結果を受け、平成 30 年度以降は広報やイベントの見直しに努め、利用者数増加に繋げている。令和 2 年度は新型コロナウイルスの影響により、都市部にあり気軽に行ける屋外の公園への注目が高まったためと考えられる。

1-4 収支状況

収益事業を当初計画時より複数実施することで計画以上の収益を得ており、収益事業で得た利益を維持管理費に充てるなど、計画予算どおりの運営管理が行われている。

1-5 運営体制

子育て支援事業や利用者ニーズに応じたプログラム整備を行うため、指定管理者の努力によりコーディネーターを2名体制にしており、「子育て支援型公園」としての役割を担うための体制をとっている。その結果、子育て世代からの満足度は高い割合を示している。

(参考) 子育て世代の満足度

子育て世代に対する利用者満足度調査における「満足」と回答した割合

項目	H29	H30	R元	R2
満足	67%	95%	98%	95%

2 総合評価

以上のような評価項目毎の評価を踏まえると、指定管理者は、自然環境、公園資源を活かしたプログラムの推進や子育て世代に合わせたプログラム、体制強化に積極的に取り組み、利用者の高い満足度も得ている。これらのことから適正に業務を実施していると評価できる。

ただし、公募時に提案のあった利用促進事業を年度によっては実施できていないものもあるので、新型コロナウイルス感染症の発生状況や感染対策を踏まえた上で、残りの管理期間において、その解決に向けた取り組みが求められる。

(参考) 利用者満足度

利用者満足度調査における「満足」「やや満足」と回答した割合

項目	H29	H30	R元	R2
満足	46%	49%	53%	60%
やや満足	33%	31%	34%	29%
合計	79%	80%	87%	89%

淡路島公園（ハイウェイアスゾーン除く）の指定管理者の 管理運営に関する評価

本公園は、淡路地域の広域かつ多様なレクリエーション需要に対応するため、豊かな自然環境と明石海峡や大阪湾を展望できる立地条件を活かし、「自然・人・情報の交流の場」をテーマに整備された公園である。

本公園について、県立都市公園指定管理者候補者選定委員会は、県から指定管理者の業務実施状況をヒアリングし、以下のとおり指定管理者の管理運営に関する評価を行った。

1 評価項目毎の評価

1-1 施設維持管理業務

植栽管理は年間を通じて計画通り適正に実施されており、芝刈りについては計画以上の回数を実施している。利用者満足度調査においても植栽管理の満足度は高い割合を示している。

(参考) 利用者満足度

公園の施設維持管理に関わる満足度は以下のとおりである。

(利用者満足度調査における「満足」「やや満足」と回答した割合)

花壇、樹木等の手入れ

項目	R元	R2
満足	56%	51%
やや満足	23%	27%
合計	79%	78%

1-2 運営業務

「淡路島公園を楽しもうまつり」など公園の魅力を活かしたイベントや、ボランティア団体と連携し、野鳥・水鳥や昆虫を題材とした環境学習など、公園の自然環境や園内資源を活用した取組を実施している。

また、当初計画より前倒しで令和3年1月よりイベント情報や開花情報、昆虫、鳥などの園内情報をより周知するため、FacebookやInstagramなどSNSを活用した広報を行っており、今後のさらなる利用促進が期待できる。

利用者満足度調査においては、イベントと情報発信の充実度に関わる満足度が令和2年度では令和元年度に比べ低い割合を示しているが、令和2年度は新型コロナウイルス拡大感染防止対策のためイベントを中止したためと考えられる。

(参考) 利用者満足度

イベントと情報発信に関わる満足度は以下のとおりである。

(利用者満足度調査における「満足」「やや満足」と回答した割合)

イベントの数と内容

項目	R元	R2
満足	30%	23%
やや満足	26%	17%
合計	56%	40%

情報発信の充実度

項目	R元	R2
満足	35%	33%
やや満足	39%	27%
合計	74%	60%

1-3 利用状況

指定管理者が公募時に提案した目標年間来園者数（年間 63 万人）に対して、令和元年度は 63.5 万人、令和 2 年度は 53.9 万人であった。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大対策のため、集客イベントを一部中止しており、また 5 月の大型連休期間に駐車場を閉鎖したため、目標に満たなかったと考えられる。

1-4 収支状況

指定管理料と利用促進事業収入の範囲内で計画通りの維持管理が適正に行われている。また、直営での施設修繕に努めることにより経費削減を図っている。

1-5 運営体制

設置管理許可を受けて園内に施設を設置し、管理を行っている(株)ニジゲンノモリの工事期間においても業務経験豊富な職員が利用者に対して安全性や利便性の確保を適切に行った。

(参考) 利用者満足度

運営体制に関わる満足度は以下のとおりである。

(利用者満足度調査における「満足」「やや満足」と回答した割合)

職員の対応

項目	R元	R2
満足	55%	42%
やや満足	14%	23%
合計	69%	65%

2 総合評価

以上のような評価項目毎の評価を踏まえると、指定管理者は、公園管理の専門知識を有する職員を配置することにより、質の高い施設維持管理を行うとともに、探鳥会や環境学習事業といった自然環境を活かしたプログラムや、「淡路島公園を楽しもうまつり」といった公園の魅力を活かしたイベントを実施している。これらのことから指定管理者は適正に業務を実施していると評価できる。

あわじ石の寝屋緑地の指定管理者の管理運営に関する評価

本緑地は、明石海峡大橋周辺の緑豊かな美しい景観の保全と、絶滅危惧種の猛禽類サシバをはじめ、貴重種が棲息する自然環境の保全を目的とした緑地である。

本緑地について、県立都市公園指定管理者候補者選定委員会は、県から指定管理者の業務実施状況をヒアリングし、以下のとおり指定管理者の管理運営に関する評価を行った。

1 評価項目毎の評価

1-1 施設維持管理業務

豊かな自然と景観に恵まれた本緑地の快適な利用を目指し、植栽管理については園内の樹木点検や、芝生広場における芝刈りの回数を増やし、安全で快適な公園環境の維持に努めている。

また、トイレの公園施設の清掃頻度も増やしているため、公園の施設維持管理に関わる利用者満足度は高い水準を維持している。

(参考) 利用者満足度

公園の施設維持管理に関わる満足度は以下のとおりである。

(利用者満足度調査における「満足」「やや満足」と回答した割合)

花壇、樹木等の手入れ

項目	R元	R2
満足	80%	77%
やや満足	16%	16%
合計	96%	93%

公園内の清掃

項目	R元	R2
満足	78%	77%
やや満足	21%	12%
合計	99%	89%

1-2 運営業務

ボランティア団体等と連携し、緑地の持つ自然環境の魅力をPRするハイキングイベントやいきものたんぼを活用した環境体験学習等の取組を計画通り実施しており、イベント参加者へのアンケートでは満足度が高い。

広報については、ターゲット設定や効果的な広報媒体の選択・方法などの見直し、情報媒体の主流となりつつある SNS を活用するなど、戦略的広報により広報の充実が求められる。

(参考) 利用者満足度

イベント及び情報発信に関わる満足度は以下のとおりである。

(利用者満足度調査における「満足」「やや満足」と回答した割合)

イベントの数と内容 (イベント参加者へのアンケート)

項目	R元	R2
満足	58%	-
やや満足	35%	-
合計	93%	-

※R2はコロナ対策のため定員数を減らしたのでアンケート未実施

情報発信の充実度

項目	R元	R2
満足	37%	30%
やや満足	20%	7%
合計	57%	37%

1-3 利用状況

指定管理者が公募時に提案した目標年間来園者数 (年間 1.5 万人) に対して、令和元年度は 1.7 万人、令和2年度は 1.8 万人と目標達成しており、ハイカーや愛犬連れ等のリピーターが増加してきたことが要因と考えられる。

1-4 収支状況

指定管理料と利用促進事業収入の範囲内で計画通りの維持管理が適正に行われている。また、直営での施設修繕に努めることにより経費削減を図っている。

1-5 運営体制

県立景観園芸学校と連携し、環境学習の事前調査や管理運営協議会の円滑な開催を実施しており、また業務経験豊富な職員を配置しているため、運営体制に関わる利用者満足度は高い。

(参考) 利用者満足度

運営体制に関わる満足度は以下のとおりである。

(利用者満足度調査における「満足」「やや満足」と回答した割合)

職員の対応

項目	R元	R2
満足	70%	65%
やや満足	5%	6%
合計	75%	71%

2 総合評価

以上のような評価項目毎の評価を踏まえると、指定管理者は、美しい景観を保全するための適正な維持管理や利用者満足度の高いハイキングイベントの開催、景観園芸学校と連携した環境学習の実施などの自然豊かな緑地を活かしたプログラムを実施している。これらのことから適正に業務を実施していると評価できる。

ただし、本緑地について認知度が低く、情報発信についても利用者から更なる充実を求められているといった課題もあることから、残りの管理期間において、その解決に向けた積極的な取り組みが求められる。